

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



自転車の交通事故発生状況 令和5年中



1 自転車の交通事故発生状況

令和5年中の自転車事故（同乗者を含む自転車乗用者が死傷した交通事故）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は減少しました。

なお、死亡事故は3件3人発生しており、前年と同数でした。

【自転車の交通事故発生状況】

（令和5年中）

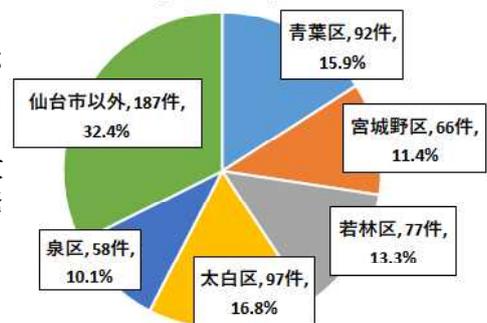
区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	577	3	3	96	481	577
前 年	624	3	3	91	539	630
増 減 数	-47	0	0	5	-58	-53
増 減 率	-7.5	0.0	0.0	5.5	-10.8	-8.4

2 仙台市内の自転車交通事故の発生状況

県内の自転車事故の約7割(577件中390件、67.6%)が仙台市内で発生しており、内訳は、太白区が97件で最も多く、次いで青葉区92件、若林区77件でした。

仙台市内の自転車事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は減少しましたが、死亡事故が1件1人発生し、増加しました（前年比+1件+1人）。

【発生場所】



【仙台市内の自転車の交通事故発生状況】

（令和5年中）

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	390	1	1	60	330	390
前 年	435	0	0	59	380	439
増 減 数	-45	1	1	1	-50	-49
増 減 率	-10.3	-	-	1.7	-13.2	-11.2

3 自転車が第1当事者となった事故の発生状況（基礎データ平成30年～令和5年）

令和5年中の自転車が第1当事者となった人身交通事故は、対歩行者が20件で、前年と比較すると5件増加しており、その他、自転車同士は8件（前年比+2件）、対二・四輪車が6件（前年比+3件）、自転車の単独が3件（前年比-1件）でした。

また、対二・四輪車と自転車単独で死亡事故が発生しました。

区 分	自転車×歩行者			自転車×自転車			自転車×二・四輪車			自転車単独			計		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
平成30年	22	0	22	9	0	9	6	1	5	4	0	4	41	1	40
令和元年	27	0	27	13	0	13	4	0	4	2	1	1	46	1	45
令和2年	22	0	22	11	0	13	4	0	6	1	1	0	38	1	41
令和3年	14	0	14	8	0	10	0	0	0	0	0	0	22	0	24
令和4年	15	0	15	6	0	6	3	0	4	4	2	2	28	2	27
令和5年	20	0	21	8	0	8	6	1	5	3	1	2	37	2	36
前年比	5	0	6	2	0	2	3	1	1	-1	-1	0	9	0	9

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

4 自転車事故の発生推移 (基礎データ平成26年～令和5年)

令和5年中の発生件数は、ピーク時である平成16年(2,208件)の3割以下まで減少し、平成22年以降は、右肩下がり減少傾向となっています。

死者数は、平成24年以降は7人以下で推移しているものの、近年は3人ずつの死者数で、下げ止まりの傾向となっています。



5 自転車事故の特徴等 (基礎データ令和5年中)

(1) 死傷者の約5割に違反

自転車乗用中死傷者の約5割(580人中266人。45.9%)に違反が認められました。

違反別では、動静不注視(266人中119人。44.7%)と安全不確認(77人。28.9%)が多くなりました。

【自転車死傷者の違反】



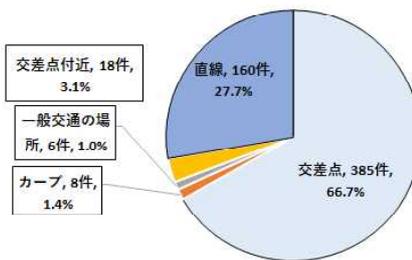
違反種別	人数
安全不確認	77人
動静不注視	119人
前方不注意	6人
交差点安全	20人
通行区分	13人
一時不停止	3人
他の違反	28人
違反なし	314人
合計	580人

(2) 交差点での発生が多い

道路形状別では、約7割(577件中385件。66.7%)が交差点で発生し、全事故の構成率(4,033件中1,633件40.5%)を26.2ポイント上回りました。

また、事故類型別では、出会い頭の事故が約6割(577件中326件。56.5%)を占めており、全事故の構成率(4,033件中977件。24.2%)を32.3ポイント上回りました。

【道路形状別自転車事故】

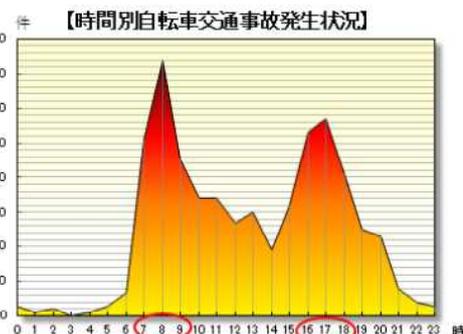


(3) 朝夕の通勤・通学時間帯の発生が多い

発生時間別では、朝の7時台～9時台が特に多く、次いで夕方の16時台～18時台と通勤・通学時間帯に多く発生しました。

(4) 高校生の事故が多い

年代別では、15～19歳の死傷者が147人(25.3%)と最も多く、学職別では高校生が111人(19.1%)と多くなりました。



区分	計	年代別Ⅰ										年代別Ⅱ						
		～14	15～19	20代	30代	40代	50代	60～64	65～69	70代	80～	高齢者	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	その他学生
死傷者数	580	58	147	96	74	50	59	28	20	33	15	68	0	26	36	111	43	15
死者数	3					1			1	1		2						
負傷者数	577	58	147	96	74	49	59	28	19	32	15	66	0	26	36	111	43	15

(5) ヘルメットの着用率が低い

自転車乗用中の死傷者580人のうち、ヘルメットを着用していたのは63人(10.9%)で、着用率が極めて低調でした。

また、重傷以上の死傷者では、ヘルメット非着用者87人のうち23人(26.4%)は、ヘルメットを着用していれば負傷の程度を軽減できたと考えられます。

	死亡	重傷	軽傷	死傷者計
着用	0	12	51	63
非着用	3	84	430	517
うち効果あり	3	20	51	74